

2010年度事業報告

2010年4月1日～2011年3月31日

特定非営利活動法人 お笑い事業団ニイガタ

I 2010年度活動の重点

1. 設立10周年記念事業の実施
2. 市民参加型「お笑い劇団」「お笑いチーム」の立ち上げに向けた活動
3. 「お笑い芸人」「お笑い講師」の発掘・養成のための活動

II 実施事業

1. 派遣事業

高齢者施設・学校・各種団体の要請に応じて「お笑い使節団」芸人・講師派遣する事業は、鈴木正平理事長代行がリーダーとなり積極的に展開。

鈴木正平、当事業団会員、「お笑い同好会・越後」のメンバー、他が協力して出演、有償44回無償13回の派遣実績をあげ観客数は計2,760人にのぼる。聴衆、派遣先からも好評をいただき、リピーターも増えてきた。無償での派遣は介護施設を中心に行った。別表に一覧。

2. 「お笑い同好会・越後」への協力体制を構築

高齢者施設・学校・事業所などに派遣する「お笑い使節団」のメンバーを養成する為に開設する特別教室から派生した「お笑い同好会・越後」への協力体制を構築した。より良い協力体制の実現に向け努力を重ねる。

「お笑い同好会・越後」は、派遣への出演、「ふれ愛古町ステージ」へ出演しまちなか再生・にぎわい創出に成果をあげた。その後も「緒立温泉・黒埼荘」での公演、アスパーク亀田での公演など継続中。

- ・6月27日には、「お笑い同好会・越後」発表会を開催。コストをかけずに、音響、舞台、構成、監督、広報などを同好会のメンバーが自主的に運営した。その後も、有志らが自主的に同好会を運営し月活動している。

3. 主催事業

◆お笑い市民大学 特別講座

4月25日の総会終了後のイベントとして、新潟大学教授 井山弘幸氏による「笑いの現在」をテーマとした講演を行った。33名の参加があり、参加者からは好評を得たので継続して行っていきたい。

◆設立10周年記念事業

① 設立10周年記念誌の発行

A4、32ページ、カラーの冊子を1000冊作成。

高橋理事・喜多村理事が編集委員になり。多くの会員、関係者から協力を得て完成し、11月8日に発行する。

配布先からは、「今までがよくわかる」「こんな苦労もあったとは」「益々、応援します」等々、良い反響を頂いた。当事業団の認知度を上げる効果もあり、その後の派遣や広報にプラスとなっている。

- ② 設立10周年記念イベント（第10回越後笑劇場を兼ねる）の開催
- | | |
|-----|--|
| 開催日 | 2010年11月23日（祝・火） |
| 会場 | 「天寿園」ホール |
| 内容 | 第1部 記念式典
記念講演（お笑い市民大学）
「笑い与健康のステキな関係」
伊藤一輔 氏（日本笑い学会北海道支部長） |
| | 第2部 発表会（越後笑劇場）
①事業団所属の県内のお笑い芸人たち
②記念公演「アカデミック漫談」人星亭喜楽駄朗
（日本笑い学会東北支部秋田県幹事） |
| | 第3部 お笑い交流会 |

※設立10周年記念事業の事業報告・収支報告は別紙にて記載。
※平石会員や多数の企業団体より協賛金・寄付金をいただき、無理の無い収支で事業を成功裡に終える事が出来た。

4. 交流事業

4月25日	総会後に交流会
7月10日11日	「日本笑い学会」総会・研究発表会へ参加
11月23日	設立10周年事業の第3部として交流会

5. 総会の開催

4月25日	社員通常総会	於：ハミングプラザVIP新潟
-------	--------	----------------

6. 理事会・運営委員会の開催

4月25日	定例理事会
9月27日	定例理事会
4月～3月	第1月曜日を定例日として運営委員会を開催 必要に応じて随時、運営委員会を開催した。

7. その他

- (1) 11月10日、記者会見。（10周年事業について、於：県政記者クラブ）
- (2) 会員名簿を発行
- (3) ホームページの更新「お笑い芸人」「お笑い講師」のプロフィールを充実
- (4) 「さんわ福祉」助成金の申請・・・採択される。10万円の助成。
- (5) 新潟市補助金の申請・・・採択される。20万円の助成。